

< 提案内容 >

1. 県内の公共図書館との相互理解を深め、連携・協力関係を発展させるため、兵庫県図書館協会（事務局：兵庫県立図書館協力課）に以下の申し入れを行う。
兵庫県図書館協会の研究集会に大学図書館にも関連するテーマを盛り込む、研究集会の広報を強化するなどにより、日本図書館協会の地方組織助成金の大学図書館への還元をお願いしたい。
2. 館種を超えた連携・協力関係を発展させるため、県図書館協会との連絡調整窓口を企画委員会として、今後の具体的な連携プランの検討を進めたい。

< 提案理由・経過等 >

1. 兵庫県立図書館協力課（兵庫県図書館協会事務局）から、本年3月に以下の検討依頼があった。
 - 1) 兵庫県図書館協会は、昭和52年以降、日本図書館協会から地方組織活動助成金を受けており、会報の発行、兵庫県公共図書館調査、研究集会開催経費に充てている。助成金額は年20万円程度である。
 - 2) 現在、日本図書館協会では、地方組織のあり方についての議論が進められており、助成金のあり方についても論議がなされている。
 - 3) 兵庫県図書館協会の平成16年度事業計画（案）の作成にあたっては、従前どおり兵庫県図書館協会の収入として計上し、会報の発行等の経費に充てるとともに、研究集会の広報を強化するなどにより、公共図書館以外の会員（大学図書館等の団体会員、個人会員）への還元を強化したいと考えている。
 - 4) 県内の日本図書館協会の団体会員数は、公共47、大学39であり、上記の助成金の扱いについて、大学図書館側の意見を頂きたい。企画委員会では、委員館のメールによる意見交換の結果、とりあえず以下の内容を電話で回答した。
 - 1) 今後の助成金の取扱については、4月以降に企画委員会で検討のうえ、総会に諮ったのちに回答する。
 - 2) 平成16年度助成金の取扱については、公共図書館と大学図書館との連携を強化する方向で活動していくことを前提に兵庫県図書館協会にお任せする。
2. その後、兵庫県図書館協会の平成16年度総会（6/18開催）においては、大学図書館と連携強化する方向性が確認され、大学図書館側との窓口は、事務局である兵庫県立図書館協力課があたることとなった。

以上の経過を踏まえて、館種を超えた連携・協力関係を今後進めていくため、上記提案内容を総会にお諮りするものである。